

令和5年度 第3回佐久市立中央図書館建替再整備検討委員会 要旨

1 会議概要

日時	令和6年1月31日(水) 11:00~16:20
場所	中央図書館 視聴覚室 ほか
出席者	佐久市立中央図書館建替再整備検討委員6名 植松貞夫、朝倉久美、小木田順子、森いづみ、森田秀之、柳澤拓道、 事務局10名 吉岡教育長、依田社会教育部長、篠原館長、比田井事務長、平川係長、金井 専門員、高瀬専門員、布施主査、竹内主任、中村主事
資料	・会議次第 ・資料1 佐久市立中央図書館建替再整備基本構想(案) 【概要版】 ・資料2 佐久市立中央図書館建替再整備基本構想(案)
	<p>【日程】</p> <p>11:00-12:00 コードマーク御代田見学 (森田委員より里山を守っていく活動拠点であるコードマーク御代田の説明あり)</p> <p>13:30-15:00 佐久市立中央図書館建替再整備検討委員会</p> <p>15:15-16:20 ワークテラス佐久・TonaRide(トナリデ)見学 (柳澤委員より県内最大規模のコワーキングスペース「ワークテラス佐久」とJR中込駅構内にある超まちづくり拠点「トナリデ」の説明あり)</p> <p>【中央図書館建替再整備検討委員会】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 会長あいさつ 3 教育長あいさつ 4 会議事項 <p>資料説明等</p> <p>資料2のP50 第4章 6つの基本方針について</p>

委員	<p>(1) もそうだが、見出しやキーワードみたいなものがないと、知りたいことを全体から見つけるのは難しいので、その辺りの考え方を具体的な言葉に落とせるといい。見出しという想像しにくいかもしれませんが、単語にどう落とし込めるか、あるいはNDC順だとしても別置みたいなのをどうするかとか地域資料の使い方とかその辺をもうちょっと。それと(6)の佐久市民の誇りという部分が、最近そういうことを掲げる図書館も多いが、地域の愛着というような言葉に変えられないだろうか。</p>
委員	<p>誇りに思うかどうかは、使った人が結果として感じるものなので、図書館側から誇りですよとしてしまうと逆にダサくなってしまわないか。文章の中にはもしかしたらあってもいいかもしれないが、大々的に出ると何かちょっとという気がする。</p>
事務局	<p>市民の方の中に誇りに思えるよう文化施設があると良いという意見があり、それを生かすような形で入れている。</p>
委員	<p>シビックプライドとか、本当の意味はすごいのだが、日本では少し誤解を受けるところもある。</p>
会長	<p>第1のところとか、地域修論というのは、基本計画の段階で論じた方がいいかもしれない。先ほどの接点っていう部分で言えば、知への扉っていう。</p>
委員	<p>具体的なことは「基本計画」の段階になると思いますが、この基本構想を実現するため、「ありたい姿」はどうすれば実現できるのか、道筋が「構想」の段階でもう少し見えたらいと感じる。</p> <p>建設する場所や、複合化する場合の相手が見えないまま「構想」を出さざるを得ない状況がとても難しい。中央図書館として全ての機能が網羅的にあるというのは変わらないが、それと同時に、「こういう施設と組むからこそ、こういう強みがある」ということが「構想」として打ち出しづらいと思う。また、「佐久」というキーワードは入っているが、佐久市でなければならない、佐久市だからこそできるという要素が少ないように感じる。その辺りの肉付けができると市民の方が見たときに、新図書館への期待が膨らむのではないか。具体化していく時に自分ごととして関わりたいと思う最初の一步になると思う。</p> <p>全体的なボリューム感も、構成も、課題と現状認識の分析に関する記載が多いのに対して、実現したい姿の部分が少なく感じる。課題や現状認識の一部は資料編にして後ろに回しても良いのではないだろうか。</p>
会長	<p>例えば学校図書館との関係とかいうのは、ここでは読み取れない。(3)のところでも学校図書館との関係とか、今日の視察先であるワークテラスのようなスペースとか、あるいはもう少し進んでくると市民が図書館を社会貢献の場とするような使い方。例えば、リタイアした男性が図書館を利用して市民大学を開くなどの佐久だからこそできそうなことを入れる。</p>

委員	<p>分析がとてもしっかりされているからこそ、分析がどのようにこれに生かされているかという繋がりが出てくるといい。佐久市はこういう地域だから、今こういうことが求められている。だから、図書館はそれを実現するのですと繋がっていくといい。その地域で暮らしている人たちが気になっていることや求めている暮らし方が新しい図書館に行くと見えてほしい。</p>
委員	<p>提案ですが、課題の整理はP37から40までにされているので、こんな課題が見えてきたので、それに対して今度の新しい図書館では、こういう課題があったからこそ、こういう基本方針のこの項目に繋げていくのかみたいなことが1個あれば繋がると聞いていて思った。課題がたくさん見えてきた。それに対して、新しい図書館ではこういう方針でこういうふうに紐づいて、新しいことをやっていきますとなると、なるほどなあと思う。</p>
会長	<p>この市内の他の図書館もみんな立派なので、それぞれが自前でやっていけるので、その上にある中央図書館というのは難しい。</p>
事務局	<p>サービス計画を基本的に作らなければならないと思いながら今年度は踏み込めなかったので次年度の計画に策定を入れた。そういった意味では、課題は見えていても、まだ十分に新しい図書館に対するビジョンというのが固まっていない。</p>
委員	<p>委員さんがおっしゃったことに関連して、今ここでは課題の整理が見直されていて、そこの紐づけということですがけれども、この課題というのは図書館を使う人や見ている人が、現状に対し狭いとかここを改善してほしいといった内側からの課題になっているので、そこだけ解決をしようとしても、外側からも見たときに、この時代にどうして税金を使って図書館というものが必要なのかという視点が、アンケートの分析からでは出てこない。思い切って、今の地域の課題、後継者がいないとか、高齢化が進んでいるとか、どんどんシャッター街が増えている。そういうことはみんなが思っていることなので、そういった地域の課題に対して図書館も何か関わるとか、橋渡しをするようなことが、この理念や基本方針の中にほしい。大きな言葉で言うと自分の課題と世界課題は直結しているなと思ったので、佐久市からもっと広い外の世界につながっていく。そこの橋渡しをすることがあるよというような、地域の課題解決とこの部分が方針に盛り込まれると新しく提供していくサービスも少しイメージしやすくなると思う。</p>
委員	<p>基本方針を拝見して、すごく失礼な言い方かもしれないが、多分どこの図書館もこの佐久市という言葉を入れ替えれば、図書館の基本方針だなというところに落ち着いてしまう感じがある。だからこそ、新しい図書館ができることは大きなきっかけである。施設を見学させていただいて、佐久市の面白さやそこに生きている人たちの主役感です。みんな一人ひとり自分、私の図書館って</p>

	<p>うのは、私が主役であるっていうふうに皆さんが思えるということなのだと思う。今はやっぱり図書館視点としてみんなって言葉で普遍的にしてしまっているという感じを印象として受ける。面白いなと思うのは、地域館はすごく個人的でもっと力を持っているというところをいかに中央館がすくい上げて、地域館の面白さを発信できるハブになれるかというところだと思う。そうなると、どこに建てようがどんなに小さかろうが大きかろうが機能としての中央館としての誇りというものは、そこから生まれてくるのではないかと思うので、中央館ならではの地域館のその特性が少し見えるふうにすると、自分は例えば浅科や望月や臼田に住んでいる方々が中央館遠いなって思うというよりも佐久市の人間であって、それがどこでも見られるんだなということがわかるような形になって具体的なところに押し込められるのかなという気がしました。</p>
会長	<p>登録率が人口の5割を超えているにもかかわらず、実際の貸出利用者は人口の約1割。この5割というのはどの程度リアリティがある数字なのか。登録者は何年かに1度整理しているのか。</p>
事務局	<p>3年に1度、確認しています。</p>
会長	<p>この5割は、本当にいる5割です。そうすると、なぜ4割の人が来ないのか。</p>
事務局	<p>登録した時以降来ていない可能性もあります。日常的に使う図書館になっていない。</p>
会長	<p>それと、浅科図書館は近くに住んでいない人の登録者が多いが、なぜでしょうか。</p>
事務局	<p>浅科は平坦なところであって、車で行く場合にアクセスしやすいということもあると思います。</p>
会長	<p>特段駐車場が広い訳でもない。</p>
事務局	<p>そうですね。それとご覧いただきましたが、建物が木造で落ち着いた雰囲気があります。</p>
会長	<p>5割ぐらいの人が来てくれれば、すごい図書館ですので、来てもらえる方法を考える必要がある。図書館までの交通手段として、無料バスを走らせることができないのであれば、ほかにどのような方法があるか。</p>
委員	<p>デマンドタクシーは200円分で1時間前までに予約が必要ですよね。</p>
事務局	<p>市民しか利用いただけません。</p>
委員	<p>1時間前までに電話すると車が来て拾ってくれる。市内に多くの停留所がある。</p>
委員	<p>図書館の付加価値みたいなものなのですけど、浅科の利用度に関わるかどうかかわからないのですが、温泉が近くにあるのは大きいでしょうか。</p>
会長	<p>でも温泉の休憩室に図書館があるわけじゃないから。</p>

事務局	<p>隣に交流文化館があるので、そちらを利用したついでにというのは考えられますが、それだと臼田図書館もホールの中にある。</p>
委員	<p>基本方針とか基本構想をまとめるときに私がやる最初のこととして、類縁施設を洗い出します。類似の施設と何か縁がある施設。例えば温泉っていうのも、ゆったり憩う場を作りますともしもここに書いてあったとしたら、類似です。あるいは例えば美術館だとか、工房を、民間が運営しているものも含めて、その中で一緒にやってくとすごい強みがあるとか、ここはもうそこに任せの方がいいのではないかとか、埃が立つからもうそれはやらないでおこうとか、そうやってサービスとかいろいろなものを考えて、強みを出したり、弱みを認めたりとかってするのですが、例えば、この（３）の「生きる力を育む場です」ということについて、これは具体的にどこと繋がって、どことバッティングするのかみたいな。おそらく明らかに公民館が一つだと思いますが。そうしたら、公民館と図書館どういう関係でいたらいいのかみたいなところを徐々に追いついていくと分かってくる。このままでもいいと僕は思っていて、これはこれでもう一旦スルーして、次のフェーズでしっかりとやるべきなのかなという気がしています。これを作り変えるのは結構大変ですので、やらなくてはいけないことは、同じところを作ってしまうと公共としては無駄ですし、接近した方がいいところは距離があっても接近できる可能性もあるので、あの手この手を使ってやっていく。せんだいメディアテークは木工室とか金工室を作る計画でしたが、そこは県立の美術館があるのでつぶしたりしている。</p>
会長	<p>複合化といっても武蔵野プレイスみたいにコントロールは１ヶ所でやって複合するというのと図書館と公民館のようにそれぞれ事務室を持ち場所を設けるっていうやり方もある。</p> <p>近年の傾向は全部を融合的に一つの組織が一つの建物全体を管理してしまうというやり方になってきていると思うので、そういう方向で複合化を図るかどうかということも検討が必要だろうと思います。ということで、既存の施設がどういうもので、どういうことをしていて、それとどういうふうに組むかということだと思いますね。</p>
委員	<p>せっかくワークテラスがあるのなら、ワークテラスと一緒にとか。</p>
委員	<p>同じ会員制度にとか。</p>
会長	<p>また先ほどお話があったように、今まで公共施設は、お金取れなかったけど、もう取ってもいいようになってきているので、ある部分は席代をいただくということもできる。</p>
委員	<p>ワークテラスの場合は３時間５００円、１日１０００円でお金をいただいています。</p>

委員	<p>P47、48、49 辺りで佐久市の図書館がそれぞれどういう機能を担えるかという整理もしてありますし、そのP47、48 辺りは類縁施設も明記されているので、そういう意識を持って進められているところだと思います。学校とか公民館とかさらに民間がしているサービスまで広げていけると図書館の機能自体をこれまで図書館でしていなかった所にチャレンジングにやっっていこうとされている中で、相手先の幅が広がっているのだろうなという感じがしました。</p>
委員	<p>学校との関係で、実は今、厚木市の市役所、図書館、未来館の複合施設を手がけていますが、その図書館の中に探究キャンパスという場所を作ろうとしています。それはなぜかという今、中高を中心に日本の学校教育が探究し続けることの強さということに変わってきていて、知識をつけようとか、何とかじゃなくて、持久力ですね、探究し続ける力。それに変わってきているので、図書館というのは、探究をするための良いザッピングというか。広いこんな世界があるのか、相撲について、この花についてとか、いろんな世界があるので、そういったことに使えると思う。それが（1）ですよね。新しいことが見つかるみたいなことだと思うのですが、探究し続けるというようなことを入れておくと、学校と繋がると思う。あそこに行って何か見つけて来て、みたいな課題を先生から出してもらうなど。これは話題提供でした。</p>
会長	<p>細かい話ですけど、視聴覚資料っていうのはまだ必要ですか。</p>
事務局	<p>49 ページ下から4 行目に資料というのはCD やDVD と書いていますが、音源配信サービスも念頭において、どういうふうにするかをこれから考えなくてはいけない。</p>
委員	<p>そもそもプレイヤーが今もうなくなってきている。</p>
会長	<p>逆にプレイヤーごと貸し出す方法もありますよね。でも、それこそ家庭菜園のやり方とか、稲の米の作り方とかそういう動画というのは、図書館にあってもいいですよね。森の間伐の仕方とか。</p>
委員	<p>ミニシアターみたいなものはあっていいと思いますけどね。</p>
会長	<p>だから、昔のレコードとか昔のカセットテープっていうのをそれこそ図書館で利用できるようにするというのもありましようし、CD とかDVD も使う人が少なくなってきている。昔のVHS のビデオテープが図書館なら使えるとか。そういうのがあると、それはそれでいいかもしれないと思いますけど。</p>
委員	<p>今流行りですよ。でもプレイヤーがなくなってきている。</p>
委員	<p>最近プレイヤーを売り出すとか、レコードもそうですけどそういうのが流行りだしていますね。</p>
会長	<p>蔦屋もまた貸しはじめてもいる。</p>

委員	実現手段はその時々で変わっていくこともありますよね。
事務局	この第4章の基本方針の主語は、図書館が主語なのでしょうか。 そうです。図書館は、という見出しのところは図書館ってこういうものでありたいということです。つけた副文に関しては、図書館はこういう実現をしますというような文言でまとめてあります。
委員	市民の方に対して「図書館はこうしますよ」というお約束のようなものですね。(3)だけ自分のペースで学んでくださいとなっているので、統一した方がいいのかなと思う。市民の人が主語になるっていうやり方もあるかもしれませんが。
委員	文言の変更の提案ですが、先ほどの探究というのもそうですし、生涯学習という面でもそうですが、(3)2行目の学ぶという言葉がたくさん出てくるところ、学ぶ資料、学ぶ機会、学ぶ場などがあって、すごく耳にはいいのですが、学び続ける場っていうふうにすると、ちょっと公共図書館らしいのかな。ずっとそこにあって、自分が学びたいと思う限り、そこで継続できるというっていうイメージに変わるかなという気がしました。
委員	この間、都城市の生涯学習課に生涯学ぶ課にした方がいいのではないかと。
委員	主語がやっぱり市民の方のほうが。
委員	生涯学習とかいうと何かね他人事のような。生涯学ぶっていうと。ああ、そうかみたいな感じ。
委員	主語は自分って思います。学ぶって言葉に対するイメージが、普段、図書館に来ない方に対してはすごくハードルが高い言葉だと思います。学ぶっていうキーワードの認識が、いろんな人によって違うってことを考えると畳み掛けるように学ぶという言葉と並べることで、学習意欲ある人のための図書館だという印象が強くなる。ですので、意味というよりも使い方と場所かなっていう気がするので寄り添うような言葉が一つ入るといいと思う。
会長	そうですね、アンケートからはゆっくり本が読めて、飲食ができる場というのが望まれているわけだから。
委員	だから、関係者にとってみたら全て発見や好奇心のアンテナが立つことは学びなのではと思うかもしれないけど、多分あんまり勉強が好きじゃないと思って育ってきた方には押し付けられて教えられるっていうイメージを一生持っているのではないかと。
委員	もうちょっと楽しいみたいな言葉が一つ入るだけでちょっと変わる。
委員	太字で書いてある見出しのところは、例えば、1番は「知る」、3番は「生きる」、「育つ」というふうに大事なキーワードが含まれている。それに対して図書館はこうしますよという説明が付いているという関係性だと思うので、

	<p>キャッチーで短めな見出しに対して、それぞれ図書館の機能が書いてあると良いのでは。メリハリがあるといいかなと思いました。</p> <p>市民目線では、「私にとって大切なのは1と3」とか、そんなふう思うような気がする。委員さんの発言にもあったように「大変そう」と感じてしまうかも。「目的がないと来ちゃいけないのですか」と感じる人もいるかもしれないので、もう少し気楽な雰囲気「何もなくていい場所」というような項目もあって良いかもしれない。</p>
委員	<p>現場にいるとずっとその言葉との戦いだっただなと思いますけど、何かに出会わないといけないのですか、みたいな。</p>
委員	<p>逃げてくる場みたいな。</p>
会長	<p>学校図書館は特にそうです。</p>
委員	<p>そうです。ひとりの時間も守られる。も」なんです。何か、使い方は自分が決めていいよってというようなニュアンスにつながる。</p>
委員	<p>この方針はでも、あんまり市民の人に強く訴えかけないですよ。市民にはもうちょっと別の形にしますよね。</p>
事務局	<p>パブリックコメントをする予定です。</p>
委員	<p>内部の人たちの目標っていうことで見れば、良いと思います。</p>
教育長	<p>おっしゃっているのは、もうちょっとわかりやすいキャッチーな言葉で、一般の人には示していくよねということですか。</p>
委員	<p>そういうことです。</p>
教育長	<p>同じような話になりますが、最初にあった概要版の作り方のことも、この課題と基本方針が何だか少しギクシャクして感じるのは、ずっとなぜかなと思っていた。それは課題が、この基本方針を考えるための課題ではなくて、今使っている人たちが（解決してほしい）身近なものですよね。だから、私が今課題として捉えているのはこういうことではなくて、高校再編にも関わっていませんが、先ほど出ていましたが、キーワードで出てくる「学び」、あるいは「探究」ということは何なのかと。佐久市教育振興基本計画を作るときにもそこは相当揉んで考えました。</p> <p>キャッチフレーズは「教えるから学び」ですが、教えるという漢字には鞭で子供たちを学び舎に入れる。学は旧字体の學は両手で支えている。そういう、ありがちな例えで説明した時に、この基本方針は課題があって立てるのですが違います。本当の課題というのが何かというと、これにとらわれずに、考えなければいけないというのが探究です。</p> <p>子供たちに「課題を見つけろ。」とよく言うが、課題を見つける、ねらいを見つけるみたいなそういうことではなくて、（コードマーク御代田を見学した時に）先ほどとてもいい言葉を聞いて書いておいたが、名づけようのない大事な</p>

ものを感じる場を作っていくという。それを聞いて、すごいと思った。そういうものを味あわせて、経験から学ぶ、まさにそれですよ。

本を見て山に行くのではなくて、山に行った後に図書館に来る。ずっとそのことを考えていていました。教えるから学ぶというのはそういうことなのだと。そうやって考えたときに、一つキャッチーな本があって、落合陽一の本で「0歳から100才まで学び続けなくてはならない時代を生きる学ぶ人と育てる人のための教科書」という本ですが、これは「L I F E S H I F T」という本で人生100年時代というのがすごく有名になったのですが、そうすると100年学び続けなきゃいけないのかっていうと、そういう意味ではない。人生100年時代の観点は、今までは、0歳から20歳ぐらいまでの教育。その次は働く時期の教育。そして、その後のことですよ。私もその後に入っているが、その期間が昔に比べてすごく長い。そうするとライフステージは三つではなくてマルチステージだと考える。すると、子どもたちは学校で教わったことを覚えるだけでは、コロナ時代のような訳のわからない時代に通用しなくなってしまう。では、学校って何のためにあるのという、学び方を学ぶためにあるという。そういう答えを彼は出して、その方法として、友達と話をしたらいい答えが見つかった。それこそが協働的な学び。こういうことを、高度経済成長時代に学校がやってこなかったのは社会的な理由があり、間に合わなかったが、今は、もうそうではないとすると、そういうことを高校は結構前からやっているけど、今は小学校の段階からそれをしていますよね。そういう時代に、マッチする図書館っていうのは例えば、「100歳まで学び続ける人のための図書館」みたいな。そういうコンセプトみたいなものをやり、まとめていくのかな、なんて思いました。

会長
教育長

落合陽一はあの、学生でした。

会長の経歴を見て、そんな話を思い出したのです。12月にNHKで落合陽一さんのことが放映されていましたが、彼の言っていることや、やっていること、ライフステージがその本に書かれているけれど、すごく教育現場の参考になると思った。先ほどのカセットみたいに懐かしい物とか、私がコードマーク御代田で気になった薪の積み方とかそういうものを調べたいと思ったときに、それを写真にも撮ったり、これはどうやって積むのかなと思ったりする。

委員
教育長

やってみればわかりますよ。

ですよ。多分そういうことです。時代や置かれているステージによって学びたいものが違ってくる。教えられたことをただ覚えるのではなく気になったときに学び方を学ぶということです。知りたいことや気になることが出来たときに図書館に出かけてみる。そのときに先ほどの話に出てきたカセットがあったりしたら、次の関心になる。そんなことを一つのコンセプトにするというこ

	<p>とが、先ほど委員さんがおっしゃった例えばこれは内部的なものだけど、一般の人に言うときにこの言葉だと全く通じないから、そういうのをここで話し合いながら考えていったらどうかということなのではないでしょうか。行政的にはこういう形で1個1個、潰していきますけども。</p> <p>あと、私のイメージとして、特徴ある各地域館の中で、中央図書館というのは「信大のキャンパス」のようなイメージを持っている。工学部や教育部があるが、その中の松本みたいなイメージで、中央図書館があると、それぞれに独自のものがあるけども中央図書館ならできる。あそこに行ってみようかなという、知りたい事があるときに中央図書館に行けば、解決できるとそんなふうにイメージしたらいいかなと。</p> <p>今日のコードマーク御代田での森田さんのお話に触発されたので、そういうことをこの場でざっくりばらんに話せると後は事務局が文字にしていく。それも大変なところですけどそんなふうに考えていくとコンセプトもできてくる。生涯学習っていうのもそういう意味でとらえる。先ほど言われたように、「学ぶ」の部分は、少し堅苦しくなるのでそこは考えつつ、その上にこれを持っていった細かいところに落とし込んでいくみたいなものいいかな。まとまらない感想ですが。</p>
会長	<p>それこそ今まで登録しなかった5割の人に来てもらえる、そっちの人こそ来てくれる図書館というコンセプトでいけばということですよ。</p>
委員	<p>「来てない人の席を作って待っています。」みたいな。</p>
委員	<p>席がありますと伝えることは大事なことです。</p>
会長	<p>石川県立図書館は、今まで利用したことがない人が大勢来ている。みなさん館内でガーガー遊ぶので大変です。</p>
委員	<p>それはやはり、お喋りOKにしているからですか。</p>
会長	<p>おしゃべりOKです。スマホも自由に使ってもいいですし、本格的な遊具もあります。ですので、図書館がガラッと変わったというイメージです。みんなで作る新しい図書館とか何かそういうのがあるのですが。</p>
委員	<p>基本方針の「みつける、そだてる、ひろげる」は、瀬戸内市の影響ですよ。みつけるは私が入れたのですが、最初は嶋田学さんが、竹内哲先生がどこかで言ったことをずっと覚えていて、それをつけたいということになって、でもみつけるって大事じゃないですかって僕の方で、加えて、その影響ですね。</p>
事務局	<p>わりとあちこちで使われている言葉。</p>
委員	<p>みつける、育て、広げる、でしょうか。</p>
事務局	<p>いや、漢字で使われるようになりました。</p>

委員	やはり、先ほど委員さんがおっしゃったように目指したい具体的なイメージは全員が持っていた方がいいので、それは早くにブレストした方がいい。
会長	いやそれも、建設場所や複合相手が決まらなとなかなか難しい。例えば佐久平の駅前みたいな所に建てるのと、駒場公園に出来るのでは相当違って来るだろうし。
委員	それはいつ決まりますか。
教育長	未定です。もう一方の問題の見通しがついていないのが現状です。
委員	基本計画を作る段階でも決まってない。
会長	いやそれは相当きついですよ。計画の段階で決まらなると規模が決められなから。
委員	構想が決まって、建設地が決まって、計画を策定する。
事務局	そうです。次の基本計画の委員会は、その後ですので、しばらくお休みいただくような形になってしまいます。
委員	建物の耐震化などのリミットはありますか。
事務局	それはないです。
委員	建設場所はコントロールが難しいとしても、どこと組んでどういうふうにしていきたいかの意思を示すことはできるのですか。
教育長	多分、場所と広さにリンクしてくると思う。大きい相手ならば造作を大きくしなければいけないので、無関係というわけにはいかない。そういう部分があるので難しいけど、森田さんにお聞きしたいのですが、ああいうのを作るときに図書館について、市民の皆さんにも今日の話みたいなことやあるいはこの段階では今見ている世界でどうしたらいいかということシンポジウムのようなことをできないか。
委員	先日、浅間中学校800人の中学生相手に学ぶとは何かというシンポジウムをしました。すごく冒険でした。評価はいろいろありますが、少しそれと似ていて、そういうことに刺激を受けて、市民で考えていこうという機運を高めていかないと、今ここ狭いから大きくしましょうだけで作ってしまうと100年もたないと思う。
委員	以前も言ったかもしれませんが、僕は市民とのワークショップを開くのは反対派です。なぜなら、先ほどのアンケートと同じように今の図書館に対してのイメージからしか出発してないからです。 もっと高いところからおろした方が、下から上がるよりも高いとこで止まるはずで、そこで、今こういう図書館もありますよっていうのを体験させるために映画を見てもらっています。映画を見て、実はここに映画に関する本があります。みんなでいろいろ感想とかを重ねましょう、これが新しい図書館です

<p>会長</p>	<p>よ。私達が目指している一つですと言ってから、皆さんどうのことをしますか、とやるんですよね。</p> <p>図書館は本が並んでいるというイメージから、急にこう変わるということをして、意見を聞くのです。でもそのぐらいしないと変わらないです。</p> <p>私も設計やりますけど、ないものは皆さん想像できないです。自分の家でもそうです。自分の家でも新しく建てようというときに、居間って言ったら、今の居間を想像してしまう。そのイメージから飛べないのですよ。</p>
<p>教育長</p>	<p>だからアンケートをもとにしたこの課題と描いているものが少し違うかなという感じがある。いろんなことをシンポジウムの中で語り合った後にアンケートをとれば、また違ったものになるかなという気がする。高校再編もNSDとって長野スクールデザインで、今までと全く違うやり方を県教委はしているのですよね。これでいうと、基本構想の策定のところは長くなっていて、本当に自由に意見を言いながらみたいのがあるから、時期的にすぐでないのならば、その間を有効に生かして、委員さんの取り組みなどをお聞きし、みんなで話してみたいなことを何回かすることも大事だと思う。</p>
<p>委員</p>	<p>そうであれば、内部でどうのことを最初に体験してもらおうかという話をするべき。古着のリサイクルボックスがある図書館。種を貸し出す図書館とか。世の中にはいろいろな図書館があります。</p>
<p>教育長</p>	<p>先ほど言ったように、知っていて答えることと、知らないで答えているのでは、やはり全然違う。広がってイメージできない部分はどうしてもある。そこを丁寧に取組んだ方が、皆さんに喜んでもらえる図書館になるかなと思う。</p>
<p>会長</p>	<p>いいですね。新しくできた図書館を例に取り上げてスライド会みたいなのをして、皆さんで感想を述べ合うとかということをしていく。それでちょっと気運を醸成するというのもあり得ますよね。</p>
<p>委員 会長</p>	<p>蔦屋さんが図書館を運営していますが、すごく学んでいるのです。</p> <p>蔦屋の運営する図書館いいですよ。和歌山なんてものすごいです。最初の武雄市の図書館からすごく進歩している。家具自体も変わっているし、本の提供の仕方も変わっている。</p>
<p>教育長</p>	<p>それは武雄市で学んだことを生かしているからですか。</p>
<p>委員</p>	<p>次々に僕らのところでも学んで、全く似たような感じです。</p>
<p>会長</p>	<p>営業部門は目的外使用をしますが、その目的外使用の部分の組み方について、いろんな例が上がってきています。全く分かれているものとか噛んでいるものとかいくつかやってきて、それをもう何回も繰返しているから、新しいのでは、和歌山県の高梁市図書館でしょうか。</p>

委員	<p>移動販売車と組んだりしています。移動販売車に本とかを積んでニーズをとったりしています。切磋琢磨でいいことだと思います。ですので、公共も遅れないようになにかしたほうがいい。</p>
委員	<p>オガール（紫波町図書館）は？</p>
委員	<p>オガールは本当に行くとなズメバチの防護服が立っていて、スズメバチ注意みたいな本があったり、チェーンソーが置いてあったり、現場とその必要なものということを丁寧にやっています。農文協と一緒に公民館を回って、この本は役立ちますかどうかみたいなことを農家さんに聞いていて頑張っていますね。</p>
委員	<p>口出しができるようなことではないと思いますが、建築場所等は、こういうことをしたいから、この場所でここと組むのですと当事者が言った方がいいのではないかなと思うんですがどうでしょうか。</p>
事務局	<p>いろいろ考えているところで案はいくつかありますけれど調整ができてない。</p>
委員	<p>実は今、栃木県で、美術館と公文書館と図書館を合築する方針があって、どこの場所でもどのように実現するのかを検討しています。場所については県民の方から正反対の声があったようです。新しい公共交通機関がちょうど何年後かに通るので、その沿線上に都市型で建てるべきだという意見と、郊外型を望む意見がありました。県民の方ともワークショップをしながら、さまざまな事例を調査したうえで、最終的には実現したい姿を考えた時に、狭いところに3つの機能を積み上げるよりも、それぞれが穏やかに繋がって個別の建物が建てられる広い郊外に決まったという経緯がありました。</p> <p>場所や組む相手が決まると、理念を実現する姿の話がしやすくなりますね。</p> <p>(2) その他 今後のスケジュールについて</p>
会長	<p>これで、今年度の、委員会は終わりってということでよろしいでしょうか 時間になりますので、本日の会議は終了といたしたいと思います。事務局お願いします。</p>
事務局	<p>アンケートについてメールで様式データを送付させていただきますので2月22日木曜日までに返信をお願いいたします。</p> <p>基本構想について、貴重なご意見ありがとうございました。本日の委員さんのご意見を反映させた後に市役所の各部署に内容の照会を行い、議会への説明を経て、再度こちらの当委員会で見させていただきます。その後、パブリック</p>

コメントやワークショップを行い、広く意見を聴取し、検討を重ねて、基本構想の策定へと進めてまいります。次回の検討委員会につきましては、7月頃を予定しております。以上をもちまして、令和5年度第3回佐久市立中央図書館建替再整備検討委員会を閉会します。ありがとうございました。

5 閉会